

福島第二原子力発電所 プラント状況等のお知らせ

(日報：平成 24 年 4 月 18 日)

平成 24 年 4 月 18 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

福島第二原子力発電所では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う津波の影響により、1, 2, 4 号機において原子力災害対策特別措置法の規定に基づく該当事象が発生し、同年 3 月 12 日、内閣総理大臣による原子力緊急事態宣言が発出されました。

その後、電動機等の復旧や残留熱除去ポンプの機能回復等の緊急事態応急対策を実施し、同年 3 月 15 日までに全号機で冷温停止を達成しました。

以後、同対策を継続して実施し、電源供給機能や残留熱除去機能の多重化を図るなど、プラントの安定的な冷温停止の維持に努めた結果、同年 12 月 26 日、内閣総理大臣により当所の原子力緊急事態解除が宣言され、原子力災害対策特別措置法に基づく原子力災害事後対策の実施段階に移行しました。

同対策を実施するにあたり、原子力事業者防災業務計画に基づく復旧計画を策定し、平成 24 年 1 月 31 日、経済産業大臣、福島県知事、楡葉町長、富岡町長に提出しました。

今後、本計画に基づき、プラントの冷温停止維持に係わる設備等の復旧を進め、さらなる信頼性向上に努めてまいります。

本日午後 4 時現在のプラント状況等について、別表および以下のとおりお知らせします（下線部が新規事項）。

○福島第二原子力発電所におけるケガ人の発生について（続報）

平成 24 年 4 月 17 日、当所構内物揚場（非管理区域）において、福島第一原子力発電所の港湾内海底土被覆工事に従事していた協力企業作業員が、係留船舶と護岸の間に体を挟まれ負傷したため、午前 10 時 25 分に救急車を要請し、午前 10 時 50 分にドクターヘリを要請しました。その後、午前 11 時 15 分にドクターヘリが発電所に到着し、11 時 41 分にいわき市立総合磐城共立病院に搬送しました。

作業員に意識はあり、放射性物質の付着はありません。

(4 月 17 日お知らせ済み)

いわき市身立総合磐城共立病院にて診察の結果、「肺挫傷、多発肋骨骨折、右血気胸、外傷性肺嚢胞、全身打撲」で、現時点で全治まで約 2 ヶ月を要する見込みと診断されました。本人は現在入院加療中で、容体は安定しております。

なお、本事象の発生原因については現在調査中であり、今後、その調査結果を踏まえ、再発防止策を検討・実施してまいります。

以上

福島第二原子力発電所 プラント状況（平成24年4月18日 午後4時現在）

別表

		1号機	2号機	3号機	4号機	参 考
原子炉の冷却	原子炉の状態	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	●冷温停止とは、原子炉水の温度が100℃未満で原子炉が未臨界の状態をいう。 ●左記の水温は午前6時現在の温度。
	原子炉水の温度	27.2℃	25.8℃	27.1℃	27.1℃	
	残留熱除去系（A）	運転中	待機中	運転中	待機中	●残留熱除去系1系列と原子炉冷却材浄化系にて原子炉の冷却を行っている。 ●原子炉冷却材浄化系は、原子炉水を浄化する装置だが、原子炉の冷却機能も有する。残留熱除去系2系統が停止したとしても、本系統により、原子炉の冷温停止状態を安定的に維持することが可能。
	残留熱除去系（B）	待機中	運転中	待機中	運転中	
	原子炉冷却材浄化系	停止	運転中	運転中	運転中	
使用済燃料プールの冷却	燃料プール冷却浄化系	運転中	運転中	運転中	運転中	●使用済燃料プールの水温を65℃以下に保つよう、燃料プール冷却浄化系で冷却している。 ●左記の水温は午前6時現在の温度。
	使用済燃料プール水の温度	26.4℃	26.8℃	25.9℃	23.6℃	
外部電源		受電有	受電有	受電有	受電有	●当所の外部電源は、富岡線1号・2号（500kV系）、岩井戸線1号・2号（66kV系）の4回線がある。
非常用電源	非常用ディーゼル発電機（A）	復旧作業中	待機中	待機中	待機中	●外部電源喪失時のバックアップとして、非常用ディーゼル発電機2台が動作可能な状態を確保している。なお、非常用ディーゼル発電機は、複数の号機で共用することが可能である。（1号機は、2～4号機の待機中の非常用ディーゼル発電機から受電可能）。 ●発電所構内には、全交流電源喪失時に原子炉や使用済燃料プールに注水するための電力を供給する電源車を配備している。
	非常用ディーゼル発電機（B）	待機中	待機中	待機中	待機中	
	高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機	復旧作業中	点検作業中	待機中	待機中	
モニタリングポスト (空間線量率の測定)		・発電所構内に7基（No.1～7）設置しているモニタリングポスト（環境中の放射線量を測定）はすべて稼働しており、測定値に有意な変動はありません。 ※当社ホームページでモニタリングポストの測定値（空間線量率）を公開しています。 http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html				
特記事項		・モニタリングポストNo.1～7に係る回線工事に伴い、本日(4/18)10:12～10:20の間、緊急時対策支援システム(ERSS)のデータ伝送を計画的に停止。 ・1号機において、原子炉冷却材浄化系の配管サポート修理工事に伴い、本日(4/18)10:20～4/19 17:00(予定)の間、原子炉冷却材浄化系が停止。 ・4号機において、残留熱除去系(A)補機系統設備の本設化に伴い、本日(4/18)15:10 残留熱除去系の運転を(A)から(B)に切替。残留熱除去系(A)は待機状態。 ・2号機原子炉格納容器内目視点検(H24/3/6～)				